

結果発表

部門優秀賞
【高校部門】

レポートタイトル

勃興する中食
～新しい食のかたちを求めて～

開成高等学校2年
メンバー：江野 諭吉さん、
阿久津 慶さん、新富 文博さん
担当教員：なし

部門優秀賞
【中学部門】

レポートタイトル

第二の人類

お茶の水女子大学附属中学校3年
メンバー：川端 佑果さん、
木村 真子さん、前田 陽向さん、
森中 花音さん
担当教員：寺本 誠 氏

レポートタイトル

大学共創
～未来まで支える学びの実現～

同志社大学3・4年
メンバー：楠堂 達也さん、
植松 由里香さん、辻 香苗さん、
中本 一真さん、西浦 希来さん
担当教員：新聞 三希代 氏

部門優秀賞
【大学部門】

- 広尾学園中学校 2年
Connect To The Future
～明日へ繋げる防災・減災～
- 立教池袋中学校 2年
世界へとびたて『日本食』
～日本を超えたその先～
- 昭和薬科大学附属高等学校 1年
Microbes make My Globe
- 東京大学 3年
Tax Leading Company
～企業のための 社会のための 税負担削減行動～
- 洗足学園高等学校 1年
におい
～につぼみのみらいを おうえんするために
いまわたしたちにできること～
- 大分県立三重総合高等学校 3年
地域創成ファンド
～未来を創る★エバンジェリスト投資への挑戦～
- 法政大学 2・3年
ビジネス戦国時代を勝ち抜く経営術
～時代の革新者 信長・秀吉・家康から学ぶ
ルールメイキングの法則～
- 市立札幌開成中等教育学校 3年
Gender-Free ～Shining Lady～

敢闘賞

アイデア賞

ルーキー賞

自ら探求する心を！

これから人工知能が隆盛する時代において、私たちがすべきことは、“前例のないこと”です。そのためには、日経STOCKリーグで情熱を持ってテーマに取り組んだように、興味を持ったことには自ら探求を続けてほしいと思います。

脳科学者
茂木 健一郎 氏

株式という、青春もある。

最優秀賞

【金融担当大臣賞】

レポートタイトル

消費で応援、
災害を乗り越えろ！

肌で感じた
「応援消費」の意義

レポートを作成するにあたり、被災地応援ツアーへの参加や、応援消費に携わる人々へのフィールドワークなど、現場へ足を運び調査を行いました。そこで感じたことは“復興への情熱”です。人手不足や風評被害による誹謗中傷など、運営上の難しさがある中で、復興を願うひたむきな思いがあるからこそ、応援消費がその重要性を認知され、なくなることがないのだと確信しました。私たちは今回のテーマを通じて、投資をすることで社会貢献にも携われるということを強く感じました。

(受賞コメントより抜粋)

NOMURA
Award

野村ホールディングスより
特別賞を授与

これまで日経STOCKリーグを通じて、金融・経済教育の普及にご尽力いただいた指導教諭(教員)の方々を表彰します。

- 左から順に
- 埼玉県立伊奈学園総合高等学校 高橋 正人 教諭
 - 関西大学 商学部 田村 香月子 准教授
 - 大阪府立西成屋川高等学校 服部 有晋 教諭
 - 豊島岡女子学園中学校 岡崎 幸見 教諭(欠席)
 - 横浜国立大学 経営学部 大雄 智 教授(欠席)

多角的な視点が、思考を深める

日経STOCKリーグを通じて、企業訪問やインタビューで得られる生の声がいかに大切かを感じたのではないだろうか。データでの分析だけではなく、現場の声を聞き、議論をすることによって、思考は深まります。ここでの学びをきっかけに、今後はグローバルな視点でも経済を見てほしいと思います。

アジア開発銀行研究所長(Dean/ADB) /
慶應義塾大学名誉教授 / 日本FP学会会長 吉野 直行 氏

投資は、より良い社会への応援でもある

今回受賞したレポートに共通していたのは「投資を通じて経済、社会をもっと良くしていきたい」という思いが表れていたことです。投資を行うにあたっては、企業と投資家にとって利益になることが求められますが、社会の発展にどう貢献しているかという「三方よし」の考え方がこれからは大切になってくるのだと、私自身も感じています。

内閣府大臣政務官 長尾 敬 氏

公認プログラム



「日経STOCKリーグ」事務局 TEL 03-3545-9823

受賞レポートや表彰式の模様は、
経済学習サイトman@bow(まなぼう)で公開中！
<https://manabow.com/>



主催：日本経済新聞社 後援：文部科学省、金融庁、日本証券業協会、日本取引所グループ、全国公民科・社会科教育研究会、一般財団法人 日本私学教育研究所、公益財団法人 全国商業高等学校協会、全国高等学校長協会

特別協力：野村ホールディングス株式会社

野村ホールディングスは、東京2020大会をゴールド証券パートナーとして応援しています。